



経験を次に活かしていこうとする確かな営み

～1学期終業式 校長講話～

一昨日の7月22日(火)は、一年間で一番暑い時季に当たる「大暑」でした。夏真っ盛りですね。連日、大変な暑さが続いています。皆さんが夏休み前の最終日となる本日を無事に迎えることができ、大変嬉しいです。

その大暑の日、2年生の皆さんは西駒ヶ岳への登山を終えましたね。天候にも恵まれ、素晴らしい眺望でした。各クラスや各学年でのまとめが始まっていると思います。また、1年生は5月末でしたが、八ヶ岳の麓や諏訪湖畔で1日を過ごしましたが、そのなかで、皆さんはどんなことを感じ、また今、準備から当日までを振り返り、どんなことを考えていますか。3年生はしばらく前のことになりますが、4月に奈良及び京都への修学旅行を終えました。あの2泊3日で感じたことや考えたことは、今の学校生活にどのようにつながっているのでしょうか。

さて、4月4日の始業式で、私はこんな言葉を皆さんに伝えました。

自分や自分たちに、何ができるのか考えたい

自分や自分たちが、どうやったらできるのか考えたい でした。

皆さんは、1学期の日々の生活のなかで、どんな「できる」を考えたでしょうか。

そして、「どのように どうやったらできるか」を考えたでしょうか。

また、「どんなときに、友や仲間が、それらを考えている姿に出会った」でしょうか。

学校生活での些細な出来事ですが、私が印象に残っていることを3つ紹介したいと思います。

毎日のお昼の時間に、皆さんは牛乳を飲んでいきますよね。そして、各クラスの給食当番の人のお陰で、飲み終わった牛乳瓶は、渡り廊下の牛乳置き場に、決められた並べ方で毎日きちんと片付けられます。そして、そこにはいつも給食委員会での当番活動をしている委員の皆さんが居てくれます。辰野中学校の給食の後、5時間目の開始には、きれいに牛乳瓶のケースが並んでいる。それが当たり前になっていますね。

ある日のことです。私が当番活動の様子を見ていたら、委員の皆さんの間でこんなやりとりがありました。

その日は3人での当番活動のようです。ある先輩が2人の下級生に「授業遅れそうならもう行ってもいいよ。あと2クラスぐらいなら自分ができるから」とさりげなく投げかけました。すると2人の下級生はお互いに「大丈夫だよ」「うん、大丈夫」と顔を合わせ、頷きあっていました。その様子を見ていた先輩は、それ以上特に何も言いませんでした。それまでの活動の積み重ねがあるからでしょうか、互いの気持ちを察し、それ以上のやりとりは必要ない、という感じでした。そして、3人は、おそらく最後だろうと思われるクラスが牛乳瓶のケースをもってきたのを見とどけ、整頓をし、いつものように5時間目に向かっていきました。委員会活動としての日常の姿だったのだと思います。

やりとりとしてはこれだけだったのですが、私は何とも言えない心地よさを感じました。この先輩は、どうしてこのような優しい言葉を下級生に掛けることができたのでしょうか。この先輩の姿から、2人の下級生は何を感じ、何を引き継いでいってくれるのでしょうか。

次にもう一つの出来事です。

朝の登校時、私は7時半ぐらいからしばらくの時間、昇降口を入ったところの廊下に立っていることがあります。このところ立って挨拶をしていたら、私が「おはようございます」と声をかける前に、生徒の皆さんから挨拶をしてくれる人が増えてきました。

私の挨拶に対して、顔をこちらに向けて目を合わせてくれたり、タイミングよく会釈をしてくれ

たり、また少し小さめの声ではあっても、しっかり聞こえるように挨拶をしてくれたり、といったいろんな姿があります。誤解のないようにお話ししますが、私は、決して全員の皆さんが元気いっぱいニコニコしながら大きな声で挨拶をしてくれる、そのことだけを求めているわけではありません。朝、いろんな状況やいろんなその日の気持ちで登校してきているだろう皆さんです。元気よく朝の挨拶をする気分ではない、という時やそんな気持ちの人もいるでしょう。それが当然だと思います。そんな中、私が挨拶をしたことについて、何らかの形でそれに反応してくれたことに嬉しさを感じます。私からすれば、私はその人に無視されてはいないんだ、私がその人の視野に入り、私に対して相手は反応してくれているんだ、という嬉しさがあるのです。

そんなことを考えていたら、お便りの中から、こんな振り返りを見つけました。

○朝にあいさつ当番がありました。いつもより早く起きて学校へ行きました。学校に来た人にあいさつをするのがすごく気持ちよかったです。あいさつを返してくれた人が多くて嬉しかったです。少し声が小さいと思ったので、次回はもっと大きな声であいさつしたいです。

○今日は、委員会の当番活動がありました。私は委員会で、朝、あいさつをします。正直「当番って大変そうだな」と思っていました。やってみると、同じクラスの友達や同じ委員会の先輩が通りかかった時に声をかけてくれたし、他の人も元気にあいさつしてくれて、「楽しいじゃん!」と思いました。朝、玄関のところで立ってあいさつをするのは大変と言えば大変ですが、それ以上の楽しさや達成感がある仕事だと思います。

私の一方的な思い込みかもしれませんが、こうやって、辰野中学校の皆さんは、誰もが何らかの形でつながり合っている。そして、そのつながりの中で、できることを増やしていつている、そういうことができる仲間なのではないか、と感じています。

朝の挨拶については、私自身もこんなふうに感じています。

- ・私と目が合うなり、明るい挨拶の声が響いたAさん。今日は何か楽しみな事があるのかなあ。昨日何か楽しいことがあったのかなあ。楽しみのお裾分けをもらったみたいだなあ。
- ・私の声にハッとして会釈してくれたBさん。何かとっても大事な考え事をしていたのかもしれない。上手く解決しそうかなあ。どうやって取り組もうと計画しているのかなあ。
- ・いつも、私の挨拶の声を聞くと必ず会釈してくれるCさん。今度は授業の時にでも、取り組んでいる学習の内容について、気になったことをそっと質問してみよう。そうしたら、もう少し自分の方から距離を縮めることが出来そうな気がするなあ。

最後に3つ目です。7月17日のたつの新聞でも紹介されましたが、先日、本校を1977年度、昭和52年度に卒業された大先輩の方々が、皆さんに寄付金を届けてくださいました。60歳を超えて同窓会を開かれ、その時に集めてくださったそうです。私が代表で有り難く受けとらせていただきました。先程、わざわざ「皆さんに」と言ったのには理由があります。3年生を中心に、皆さんは今、今年度の櫛樹饗祭に向けて、特別な準備を進めていますよね。そう、今年度の文化祭は、本校にとって60回目の記念の文化祭であり、そのために今年度独自の記念になるものを製作したいと計画しています。そして、その資金を自分達の力で集めたいと、アルミ缶等の回収に全校で取り組んでいます。このことを知った先輩方が、後輩である皆さんの取り組みを応援しようと、生徒会に対して寄付金を届けてくださったのです。

お話をお聞きしたところ、1977年度卒業生の皆さんは、中学3年生の時に、それまで本校独自の特別な名前はなかった文化祭の呼び方について、皆さんが良く知っているこの「櫛樹饗祭」という名前をつけた、まさにその当時の生徒会の中心になっていた方々だそうです。そんな思い入れのある文化祭が、今年度60回目の節目を迎えるということで、応援して下さいます。

これも、生徒会役員の皆さんを中心に、全校をあげて今年度の櫛樹饗祭では「こんなことに挑戦してみたい」「こんなことができそう」「辰野町の皆さんにもこんなふうに協力してもらえないか」と取り組んでいることが、地域の皆さんにも伝わり、今回の先輩方の想いにつながったのだと思います。

今紹介した3つの出来事のように、皆さんがつながり合って、どんなことができるようになってきたのだろう、と考えてみると、さらに通信の中からこんな振り返りも見つけました。こんなことができそう、こんなことができた、こうやったらできそう、こんなふうにしたらできた、が紹介されています。いつも、読ませてもらうのが楽しみです。時には、できそうでできなかったものもあるようですが、その過程を大切に取上げてくれていて嬉しいです。幾つか紹介したいと思います。

○今日は総合がありました。みんなで意見を出し合って、話し合えてよかったです。個人的には、「〇〇をPR」というのがやっぱりいいなと思いました。いろんな意見をもっている人がいて、や

っぱり自分だけにとどめておかず、どんどん発信（ここで言うと言言）していこうと思いました。
○改めて語彙力（ごいりょく）をつけようと思いました。テストでは、社会も数学もどちらも「説明しなさい」という問題がダメで、言いたいことは分かるんだけど、シンプルにまとまらないというのが原因だと思いました。日頃から、「人に説明するときはシンプルに分かりやすく」というのを心がけていきたいです。

○初めて水泳の学習があった。小学生の頃はプール清掃があったけど、そういえばしていないと思い、「見えないところ」で誰かがやってくれたことに気が付いた。前に先生がおっしゃっていたことに繋がってる気がした。これからは「見えないところ」で誰かのためを思っている人、頑張っている人のことも考えてみようと思う。

これらを読むと、4月からの4カ月間。皆さんの日々の学校生活の中には、経験を次に活かしていこうとする確かな営み、があることをあらためて強く感じました。

明日からの夏休みには、慌ただしくも感じる日々の学校生活から少し離れて、ものごとをゆっくり考える機会があります。そのような機会に、自分がこの4月からの生活をどのように過ごしてきたか、様々な行事や出来事を経て、今、自分はそれぞれの事柄をどのように捉えているか、自分自身で考えることはもちろん、ときには、周囲にいる大事な人たちと、ゆっくりと語り合う時間をもつことができるといいですね。

また、夏休み中何か困ったことや心配なことがあったら、一人で悩まず信頼のおける周りの大人や学校に遠慮なく相談をしてください。宜しくお願いします。

最後に、4月からの4か月間、ときには猛暑もありましたがよく頑張りました。健康に気を付けて、事故のない良い夏休みとなりますように。少し長い期間、友達とも先生とも、そして教室ともお別れです。丁寧にさようならをして帰りましょう。繰り返しになりますが、くれぐれも交通事故には気を付けてください。また、心の健康、つまり自己について偽りのないまっすぐな生き方を心掛けてください。なお、夏休み中に部活動等の各種大会やコンクール、上位の大会などがある皆さん、暑い夏休み中の挑戦となります。大会まで体調を整え、気持ちを整え、晴れの舞台に臨んでください。応援しています。ぜひ練習の成果を十分に発揮してくださいね。それではまた、8月21日の木曜日に、元気に会いましょう。

7月を振り返って

■ 1年防災学習



■ 写生会



■ 3年進路講演会



■ 2年西駒登山



7/ 1	1年：夢新聞 2年：大城山予備登山 3年：写生会	ありがとう ございました！ 県総体・通信陸上壮行会
7/ 3	3年進路講演会	
7/ 4	吹奏楽・合唱	
7/ 5	PTA 作業	
7/5, 6, 12, 13, 19, 20	県総体、県通信陸上	
7/20	吹奏楽コンクール南信 A	
7/22	1年：防災学習 2年：西駒登山 3年：1日総合、薬物乱用防止教室	
7/23	1年：写生会 2年：1日総合 3年：1日総合	
7/24	1学期終業式	

吹奏楽南信大会・中体連県大会の結果



【吹奏楽部】

自由曲「エインシェント・アクアリウム」

銀賞

【陸上部】

- 女子高跳び 1名 7位入賞
- 男子400m 1名 予選敗退
- 男子3000m 1名 決勝26位
- 女子2年200m 1名 7位入賞
- 男子1年走り幅跳び 1名 決勝31位
- 男子低学年リレー 予選敗退
- 女子低学年リレー 5位入賞



【男子バレーボール部】

- 辰野 0-2 小布施クラブ

【卓球部】

- 【男子個人戦】 1名 1回戦敗退

【水泳部】

- 女子50m自由形 1名 予選敗退 (30.73)
- 女子100m自由形 1名 予選敗退 (1:07.52)

【柔道部】

- 【男子団体戦】

- 辰野 2-3 東御東部中

- 【女子団体戦】

- 辰野 0-3 滴水館道場

- 【男子個人戦】 81kg級：1名 1回戦敗退
- 【女子個人戦】 48kg級：1名 2回戦敗退 (ベスト8)
- 52kg級：1名 2回戦敗退 (ベスト8)
- 52kg級：1名 1回戦敗退

【男子ソフトテニス部】

- 【個人戦】 1ペア 2回戦敗退

休日の緊急連絡先

0266-41-1111

辰野町教育委員会

【今後の行事予定】

- 7/25~8/20 夏休み
- 7/28~ 3年保護者懇談会 けやき保護者懇談会
- 8/21 2学期始業式
- 8/22 3年総合テスト③
- 9/1 避難訓練
- 9/4 情報モラル講演会【保護者聴講可能です】